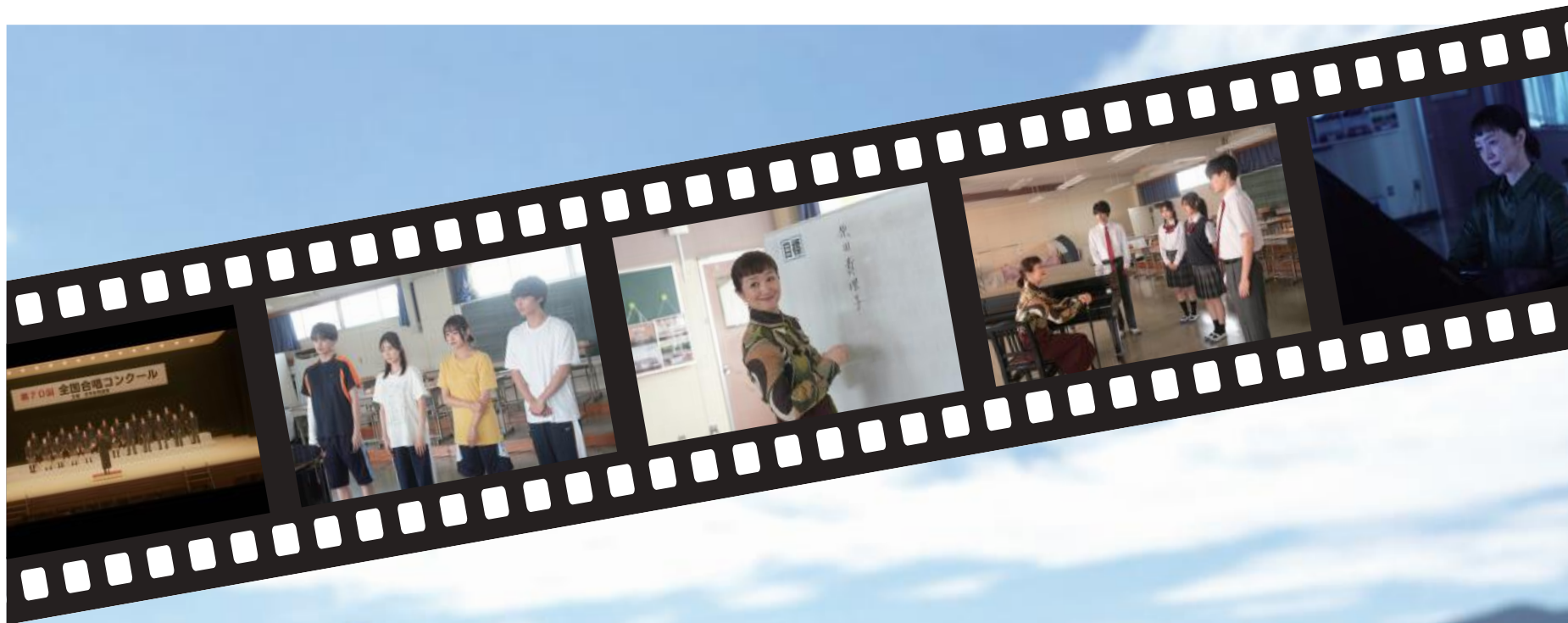


- ② 粗大ごみを有効活用
- ③ 症状がなくても検診を
- ④-⑤ 特集「キリコのタクト〜YELL〜」
オール厚木で撮影した映画が公開
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ

デジタル広報配信 アプリは「マチイロ」「カタログポケット」ネットは「マイ広報紙」



物語の舞台は、 厚木。



ロケ地マップを配布

映画の撮影地をまとめました。キャストも訪れた市内のスポットを巡ってみませんか。

☎広報シティプロモーション課 ☎225-2040

配布開始日 10月2日から

配布場所

市役所、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所など
※小田急線14駅など市外でも配布



詳細はこちら

《4・5面に関連記事》
企画政策課 ☎225-2450

厚木の魅力を市外に発信するとともに、この地に住む皆さんのまちへの愛着や誇りを育むきっかけとなる作品になっています。映画館に足を運び、ふるさとの新たな一面を探してみませんか。

映画は学校や企業、店舗などの協力の下、市内オールロケで撮影。生徒の歌声が響く中学校の音楽室や桜が咲き乱れる相模川沿いの道路、人が行き交う本厚木駅前などが物語を彩る舞台としてスクリーンに映し出されます。いつも歩いている見慣れた景色や思い出の場所が、普段とは違った表情で登場するかもしれません。

映画は学校や企業、店舗などの協力の下、市内オールロケで撮影。生徒の歌声が響く中学校の音楽室や桜が咲き乱れる相模川沿いの道路、人が行き交う本厚木駅前などが物語を彩る舞台としてスクリーンに映し出されます。いつも歩いている見慣れた景色や思い出の場所が、普段とは違った表情で登場するかもしれません。

Q Zoom Up

10月は「3R推進月間」

粗大ごみを有効活用

家庭から出るごみの中には、使わなくなった家具やこども用品など、まだ使える物が含まれています。本年度、フリーマーケットアプリ内に市公式ショップを開設し、不要品を手軽に譲り合える店舗もオープン。ごみの減量やリユース（再利用）を推進しています。

昨年度、市内で排出された粗大ごみは約1148ト。中には再利用できる物もありました。市では6月、資源を有効に活用するためにフリーマーケットアプリ「メルカリ」内に公式ショップを開設しました。7月には、市と協定を結んだ掲示板サイトが、家具や家電などを販売する実店舗「ジモティースポット」をオープン。リユースの推進に力を入れています。

「まだ使えるけれど不要になった物」を譲り合う店舗です。予約や費用は必要なく、市内在住者が不要品を持ち込めます。捨てられるはずだった物を必要とする人へつなぐことで、ごみの減量や処分費の削減を図ります。店舗に不要品を持ち込んだ中村美智子さん（52・妻田東）は、「思っていたよりも手続きが簡単だった。大切に使用できた物が、誰かの役に立ったらうれしい」

必要とする人へ資源を

メルカリ内のショップでは、市内で出された粗大ごみなどから再利用でき

できることから少しずつ

他にも、市内企業と連携して衣料品などを回収するボックス「RELOPP」を公共施設や大学に設置。身近な場所で、手軽にリユースできる環境を整えています。

10月は「3R推進月間」。リユース、リデュース（発生抑制）、リサイクル（再資源化）を促進するため、マイバッグの活用や壊れた物の修理など、できることから取り組んでみませんか。

☎資源循環推進課 ☎25-2790



店舗での引き取りは5分程度で完了

■メルカリ 市公式ショップ

《引き渡しまでの流れ》

- ①市がリユース可能な物を選定
- ②市場価値を踏まえ価格を設定
- ③利用者はアプリなどから商品を購入し、現物確認後に引き渡しを受ける

《ポイント》

ごみの減量だけでなく、処理費用の削減にもつながる



詳細はこちら

■ジモティースポット厚木

所在地 温水115

営業時間 10～18時

定休日 火曜・年末年始

対象品目 家電、趣味・スポーツ用品、こども用品、家具など

《ポイント》

- ・予約不要で持ち込みが可能
- ・引き取りは無料



詳細はこちら

粗大ごみの処分はインターネットで事前予約を

粗大ごみの処分は、環境センターに持ち込む方法と戸別回収を依頼する方法があります。いずれも事前の申し込みが必要です。

☎資源循環推進課 ☎225-2790

☎電話または市HPの専用フォームから。



詳細はこちら

参加者募集

スポGOMI大会 inあつぎ

スポーツ感覚で、楽しみながら川をきれいにしてみませんか

☎環境政策課 ☎225-2746

日時 11月14日 10時～12時30分

会場 相模川三川合流点

内容 1時間以内にチームで協力してごみを拾い、量や種類に応じたポイントを競う

対象 市内在住在勤在学の方とその家族・友人で構成する3～5人のチーム30組

費用 無料

☎10月1～23日に市HPから申し込み。先着順。



詳細はこちら

いざという時に備えて

感震ブレーカー・防災ラジオを有償配布

屋内でも防災行政無線を聞ける防災ラジオ、地震発生時の通電火災のリスクを減らす感震ブレーカーを配布します。



■感震ブレーカー

対象 感震ブレーカーを設置していない市内在住の方・事業所・団体

費用 1個500円

配布 12月以降に郵送で配布

※高所作業で設置が困難な方は、市シルバー人材センターによる有償での設置・取り付けも可。詳細は市HPに掲載。

●防災ラジオ

対象 市内在住の方・事業所・団体

費用 1台4000円

配布 12月以降に危機管理課で配布

※防災行政無線の内容は、市公式LINEなどでも配信。



☎危機管理課や市HPにある申請書を直接または郵送で10月1～30日に〒243-8511危機管理課へ。■は市HPにある電子申請システムでも受け付け。●は先着順。



詳細はこちら

☎危機管理課 ☎225-2190



定期的な検診が早期発見・治療につながる

Q Zoom Up

40歳代の乳がん検診が新しく 症状がなくても検診を

乳がんの早期発見を目指し、40歳以上の女性を対象に2年に1回の検診を実施しています。本年度からは、40歳代の方に向けて超音波検査を追加。今までの検査と組み合わせることで、毎年の検診が可能となります。

40歳代は毎年の検査を

新しく追加した超音波検査は、超音波を使って乳房にしこりなどの異常がないかを調べます。40歳代の方が対象で、前年度にマンモグラフィーを受けていることが条件です。マンモグラフィーではしこりだけでなく白い点や粒のように映る石灰化なども見つけられます。二つの検査を1年ごとに受診できるため、乳房の状態を異なる角度から定期的に確認できるようになりました(左欄参照)。

乳がんは、女性の9人に1人がかかるといわれる身近な病気です。自覚症状が少なく、30歳代後半から発症のリスクが上昇します。昨年、市の乳がん検診を受診したのは約5千人。そのうち約6%の方が「疑いあり」と診断され、16人ががんが見つかりました。早期発見・治療につながるため、本年度から超音波検査を新たに導入。以前から実施している乳房を圧迫板に挟み、エックス線で撮影するマンモグラフィーと併せ、幅広い検査が受けられるようになりました。

自分の健康と向き合う

検診は、胃がん、子宮がん、肺がんなどでも実施。6月に対象者に向けて受診券を送付しています。受診方法は、ふれあいプラザで受ける集団検診と各医療機関で受ける個別検診の2種類です。生活に合った方法で、選択が可能です。

この他にもがん診断された人が安心して治療と生活を両立できるよう、医療用補整具の購入費用なども助成(左下欄参照)。検診による早期発見から治療中の生活まで、がんと向き合う人を支えています。

10月は乳がんの正しい知識や早期発見を呼びかける「ピンクリボン月間」です。自分の体を見つめ直し、未来の健康につなげましょう。

健康医療課 ☎25-2201

市乳がん検診の種類と特性

■マンモグラフィー

乳房を片方ずつ圧迫板に挟み、エックス線で撮影。一部にカルシウムが沈着する石灰化の発見に強い。

対象 40歳以上の女性

費用 【個別】

40～49歳=2100円

50歳以上=1600円

【集団】

40～49歳=1800円

50歳以上=1300円

■超音波検査 新規

超音波を当て、マンモグラフィーでは見つけにくいしこりを見つける。乳腺の発達した若い世代に有効。

対象 前年度に市が実施したマンモグラフィーを受診した40～49歳の女性

費用 1900円

いずれも実施医療機関または健康医療課へ。受診の制限あり。市が実施するがん検診の詳細は市HPに掲載。



詳細はこちら

がん患者医療用補整具の購入を助成

対象 申請日に市内在住で、がんと診断されて治療中(治療を受けた)の方

対象補整具 《医療用ウィッグなど》

全頭用・部分用ウィッグ、毛付き帽子、付属品(頭皮保護用ネット、ウィッグスタンド、くし、クリーナーなど)

《乳房補整具》

補整パッド、人工乳房(直接肌に張り付けて使用するもの)、補整着、入浴着、付属品(人工乳房の保管容器、接着剤など)

助成額 各上限5万円

※いずれも購入(レンタル開始)日から1年以内に申請が必要。付属品のための申請は不可。

健康医療課や市HPにある申請書を直接または郵送で〒243-0018中町1-4-1健康医療課へ。



詳細はこちら

参加
無料

がん検診普及啓発講演会

知っておきたい女性の健康

日時 11月3日 10時～12時15分

会場 保健福祉センター

内容 20歳代からのPMS(月経前症候群)や更年期障害、セルフケア、子宮がん検診の必要性を学ぶ

対象 市内在住在勤在学の20歳以上100人

10月20日までに健康医療課 ☎225-2201へ。抽選。



詳細はこちら

2027年度4月入所

放課後児童クラブ 入所児童を募集

市内23小学校区にある放課後児童クラブで、こどもたちを預かります。



対象 ①各学区内の小学生②保護者全員が15時以降までの勤務や疾病などで、放課後に適切な保育が受けられない③保護者などが19時までに迎えに来られる一の全てを満たす児童

時間 平日(学校休業日を除く) = 終業後～19時
土曜・長期休業日など = 7時30分～19時
※日曜、祝日、学校閉庁日、年末年始などは休止

費用 育成料=月額4000円(18時まで)
月額4800円(19時まで)
クラブ費=月額3500円(おやつ代、教材費ほか)

こども育成課や市HPにある入所案内を確認し、申請書と必要書類を直接または郵送で11月9～20日(必着)に〒243-8511こども育成課へ。
※入所中の児童も再度の申請が必要。



詳細はこちら

こども育成課 ☎225-2582

映画に携わった方々

美しい景色をスクリーンで

日産自動車

船津 正寛さん (57・写真左)

溝口 健太郎さん (52・写真右)



自動車やバス、社内施設を提供しました。2024年末に映画撮影の話を頂いた時、「オール厚木の映画にぜひ協力したい」という思いで引き受けました。ロケハンから撮影までは約8カ月間。1こまに何度もテイクを重ねて撮影する様子を目の当たりにして、映画を作る苦労や込められた思いを肌で感じました。



満開の桜が見える通路

映画に登場する社内の通路は、桜が特にきれいな私たちにとてもお気に入りのスポットです。美しい景色をぜひ、劇場で楽しんでいただきたいです。



まちが盛り上がるきっかけに

サンダースネイク アツギ
ThunderSnakeATSUGI
尾崎 元気さん (34)

藤原大祐さんのバンド演奏シーンで、ステージを提供しました。豪華キャストも出演している中、映画に携われたことをうれしく思います。

愛着のあるライブハウスが、スクリーンでどのように映し出されるかが楽しみです。撮影場所には市内の各地が使用されたと聞いています。映画をきっかけにまちが盛り上がり、協力した人や作品を見た人たちのつながりが生まれたら良いなと思います。



ステージで歌う藤原さん

フィルム・コミッション
サポーターを募集

市では厚木の魅力を発信するため、ドラマや映画の撮影に協力しています。市内での撮影を支えるサポーターとして参加してみませんか。

募集内容

■市民エキストラ

製作会社からの依頼を受けて映画やドラマなどに出演

■ロケ場所の提供

所有する建物などを撮影場所として提供

■撮影支援サービス

弁当、車両、宿泊など、サービスを提供する事業者
市HPにある電子申請システムへ。

撮影実績
も公開中！

詳細はこちら

金広報シティプロモーション課 ☎225-2040

小瀬村 悠生さん × 佐野 ひなたさん × 関 晴香さん
(21) (21) (19)

思い出の厚木中学校に集まった3人



教室での合唱練習シーン

「ロケ地・厚木中学校に戻って」小瀬村 みんな、久しぶり。ここに来るのは一年ぶりかな。撮影からこんなに時間が経ったなんてびっくりだね。関 教室で鈴木京香さんが前に立って、みんなで歌っていたのが懐かしい。佐野 後ろの黒板に、みんなでメッセージを書いたことも覚えてる。関 そうそう。「映画のシーンに使うから」って言われて。撮影初日に書いて、みんなで仲良くなったよね。――映画挑戦のきっかけ――小瀬村 母から「キャストを募集しているよ」と教えてもらったのがきっかけ。合唱を経験していたのもあって、面白そうだなと思った。佐野 私のきっかけは、大学で見たキャスト募集の案内。不安もあったけれど、チャレンジしたいと思って申し込んだ。関 私は演劇の経験があったんだけど、案内を見てこれはチャンスだ！と思って応募した。佐野 合格の連絡をもらった後、主演が鈴木京香さんを知った。「すごい作品に応募してしまったのでは」と緊張したのを覚えている。関 私も。全国公開なんだって。俳優が

次々に発表され、「一緒にできるんだ」って不安よりワクワクが大きくなったな。――2025年5月から稽古がスタート――関 8月まで毎週、アミューあつぎのスタジオで演技と合唱の練習をしたよね。演技は毎日違う台本で、俳優になり切りながら実際のシーンを演じた。佐野 私は演技経験がなかったから大変だった。自分が演じるシーンはもちろん、場面全体を把握するのが難しかった。小瀬村 監督から芝居は逆算と教わった。物語全体で自分がどういう役割なのかを考えるのが大事って。佐野 自分の表情がどう映っているかをイメージするのが難しかった。カメラの位置も意識するように言われたけれど、自分では分からなくて苦労した。関 確かに。舞台と映画は全く違うんだなって思った。舞台では客席の一番後ろに居るために声も動きも大きくしていたけれど、映画では思い切りよりも繊細さが求められるんだなって。小瀬村 自分は演技の経験がなかった分、思い切った。合唱練習も初めはうまくいかなかったね。佐野 女性パートが大変だった。一人一人の歌声が独立しちやって、合唱としてなかなかまとまらなかった。関 そうだったね。音程だけじゃなくて、周りの音を聴きながら声の質感や響きを合わせるのが難しかった。佐野 本番ギリギリだったけれど、「YELL」も「アヴェ・マリア」も良い感じに仕上がって安心した。小瀬村 藤原大祐さんと西垣匠さん、井頭愛海さん、田辺桃子さんが途中から加わり、練習の雰囲気も変わった。関 互いに教え合いながら楽しく撮影に臨めた。休みの時間も近所のスパーの店とか、ローカルな話題で盛り上がりつつあった。佐野 練習は小瀬村くんがずつと引っ張ってくれた。腹式呼吸、発声、基礎から教えてくれたので助かった。小瀬村 そう言ってもらえてうれしい。だんだんと本当の部活みたいになったのを覚えている。

――印象に残っている撮影現場は――関 私は文化会館の合唱シーン。鈴木さんの指揮を前にして、今までの練習を思い出した。「最後の合唱なんだな」って、自然と涙がこぼれてきちゃった。佐野 私は東京農業大学で「アヴェ・マリア」を歌ったシーンかな。上から下までキャンドルの光が本当にきれいだった。その撮影がクランクアップで、俳優の皆さんからもメッセージをもらって号泣してしまった。小瀬村 自分も文化会館かな。今までの集大成だったの。あとは七沢森林公園の合唱シーンも印象に残っている。直射日光が強く、本当に暑かった。関 鈴木京香さんから、アイスの差し入れがあったのがたかったよね。佐野 撮影は大変だったけれど、ロケーションもすごくきれいだった。映画ではすてきな場面になっているといいな。――これから映画を見る方へ――佐野 「合唱や音楽をやってみたい」と思ってもらえたらうれしい。小瀬村 自分は合唱を始めてから、人生の幅が広がった。作品をきっかけに、一人でも多くの人が合唱に興味を持ってほしい。

関 映画を見た人の活力になってほしい。合唱を聴いて「明日も頑張ろう」って思ってもらえたらうれしいな。

映画監督・出演俳優からのコメント

映画監督

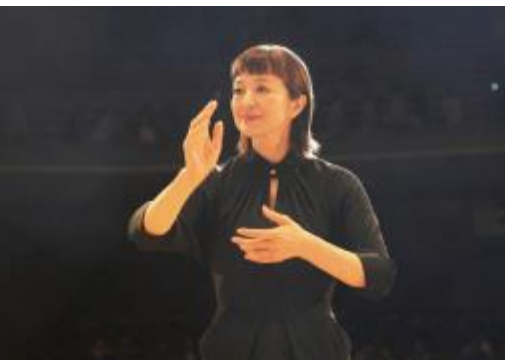
原田 貴理子 役
鈴木 京香 さん



あふれるほどの「厚木愛」

厚木のスターである「いきものがかり」の名曲「YELL」をモチーフに、市内オールロケで撮影しました。合唱の先生と生徒たちの再会と愛を描いています。市民キャストの8カ月に及ぶ汗と涙の練習。鈴木京香さんから名優たちに物おせせずに演じさせた皆さんの真剣なまなざしと情熱が忘れられません。

ロケ地の下見では、本厚木駅周辺のビルや味わいのある商店街、立派な工場に圧倒されました。郊外に行けば緑に囲まれた公園、壮大な山や森、桜の名所があり、厚木市は「緑の王国」だと感じさせられました。インスピレーションを大切にしようとしてすぐに台本を書き直し、満開の桜が広がる美しいラストシーンが出来上がりました。厚木愛がたくさん詰まった作品です。ぜひ、ご期待ください。



心の込もった映画を劇場で

映画は、私が演じる雑誌記者が学生時代の恩師である一人の音楽教師を追いかける物語です。自分の過去を追想しながら、大切なものを拾い集めていきます。映画を通じて「いきものがかり」の楽曲「YELL」の持つパワーを強く感じました。僕自身も学生時代に合唱部員としてこの楽曲を歌っていたので、役に自分を重ねて演じることができました。厚木の皆さんの大きな協力の下で、撮影が進みました。特に合唱部の生徒役で出演した皆さんとは、何度も集まって練習したことを覚えています。思いを乗せた一人一人の声が集まった瞬間が、この映画の一番の魅力だと思います。多くの方に作品が届くことを願っています。



北村翔役
藤原大祐さん

思いを乗せた声が届くように

対談企画

撮影を振り返って

総勢65人の市民キャストが参加。8カ月間の稽古を重ねて、映画撮影に臨みました。合唱部員役として出演した3人をロケ地である厚木中学校に招き、当時のエピソードを語ってもらいました。

特集

『キリコのタクト～YELL～』

オール厚木で撮影した
映画が公開

市制70周年を記念して製作を進めてきた映画がついに公開を迎えます。全シーンを市内で撮影し、キャストやエキストラとして多くの市民が出演しました。特集では、市民キャストによる対談などを通じ、撮影現場の緊張や作品に込められた思いに迫ります。

金広報政策課 ☎225-2450

あつぎのえいがかんkikiなど
全国の劇場で公開

10月2日
ロードショー



詳細はこちら

あらすじ

特集企画「伝説の音楽教師」の取材を任された記者の北村翔（藤原大祐）が、高校時代の恩師で全国合唱コンクールで数々の賞に導いた原田貴理子（鈴木京香）の現在を追うため、同級生たちと過去を振り返りながら謎に迫る物語。

キャスト

鈴木京香、藤原大祐、井頭愛海、田辺桃子、西垣匠、榊原郁恵、小西博之、大島さと子、四方堂 亘、小泉今日子、宅麻 伸、名取裕子

県央5市町村でクマの出没を想定 緊急銃猟訓練を実施



クマの模型を使って訓練

厚木、秦野、伊勢原の3市と愛川町、清川村でつくる県央やまなみ協議会の鳥獣被害対策専門部会が8月18日、クマによる人的被害を防ぐための緊急銃猟訓練を荻野運動公園で実施しました。地元猟友会や警察、消防など56人が参加。市街地や集落への出没を想定し、手順や役割を確かめました。多目的広場での実地訓練では、通報から安全確保、発砲までの流れを検証しました。

訓練に参加した猟友会の齋藤茂高さん（58・下荻野）は「もしもの時に備え、普段は発砲できない場所で動ける準備が必要だと感じた。今後定期的な訓練を重ねたい」と話しました。

協議会では今後、クマの出没が増える冬眠前の秋を見据えた警戒に努めていきます。

少年消防クラブ員が参加 夏休み消防体験教室



真剣に放水訓練に取り組む

少年消防クラブに所属する小学生を対象とした「夏休み消防体験教室」を8月19日、睦合分署で実施しました。クラブは将来の防災リーダーを育成していくと6月に発足。当日は40人のクラブ員が参加し、ポンプ車を使った放水訓練や起震車による地震体験などに取り組みました。

放水体験に挑戦した須田穂香さん（9・上荻野）は「水の勢いが強くて的を狙うのが難しかった。将来は消防士になりたい」と話し、起震車に乗った永井陽大さん（11・中町）は「立てないくらい大きな揺れで怖かった。地震が起きたときは、家族を守るように落ち着いて行動したい」と話しました。

今後消防本部では、訓練や啓発運動を通じ、消防・防災の知識や技術を伝えます。



中学生が議員を体験 あつぎ子ども議会

中学生が市政やまちの課題を質問する「あつぎ子ども議会」を8月19日、市議会議場で開催しました。公募で集まった中学生議員21人が参加し、山口貴裕市長や佐後佳親教育長らに質問。学校生活に関する身近な課題を中心に、市への希望を投げかけました。

厚木中学校3年の黒田夏央さん（15）は、友好都市交流の発信について質問。「寄贈品の常設展示スペースやSNS、広報あつぎでの発信が必要ではないか」と尋ね、山口市長は「より認識してもらえよう、展示場所を検討していきたい。定期的な情報発信に取り組むよう努める」と答弁しました。

議長を務めた玉川中学校3年の上久保美咲さん（15）は「日常では体験できない緊張感や責任感を味わうことができ、貴重な経験になった」と笑顔を見せました。



議長役と議員役に分かれて質問

広域的な課題解決へ 厚木市と海老名市が協定



協定書を手にする内野市長（左）と山口市長（右）

厚木と海老名の両市は8月19日、自然災害や人口減少などの課題解決に向けた協定を締結しました。両市が包括的な協定を結ぶのは今回が初めて。相模川を挟んで位置する両市域を一つの「行政圏域」と捉え、複雑・多様化する課題の解決に向けて連携を強化していきます。

協定では「あつぎ鮎まつり」の大火火大会で海老名市河原口の「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」を共同活用することや災害時の迅速な相互支援など、隣接市ならではの取り組みに力を入れます。

山口貴裕市長は「幅広い分野で連携を強化し、市民サービスの向上と地域の発展につなげていきたい」、海老名市の内野優市長は「歴史的な協定となった。これからも県央全体の発展に向け、手を取り合って進んでいきたい」とそれぞれ述べました。

みんなの力でまちを元気に

あつぎの市民活動

ボランティアなどの社会貢献活動を支援するため、市民活動団体の登録制度を導入しています。連載では健康・スポーツ・文化芸術・福祉など、さまざまな分野の市民活動団体を紹介していきます。

9 NPO法人 こどものえんむすび

親子の居場所づくりやコミュニケーションの場を設けるため月に3回、食品配布会を開催しています。食品ロスとこどもの孤立に向き合おうと、2022年に活動を開始。現在は約270世帯の子育て世帯と関わり、こどもへの体験・学習機会の提供や子育てに悩みを抱える方たちのサポートをしています。

食のつながりを通じ、誰もが孤独を感じずに子育てができる優しいまちづくりを目指していきます。



食品配布会でつながりをつくる

団体の詳細や問い合わせを希望する方は
市民協働推進課☎225-2101へ。

団体の一覧は
こちら



高市首相とテントを設置

熊本地震や千葉県、北陸地方での豪雨など、全国で大規模災害が相次いでいます。本市は相模川、中津川、小鮎川などが流れ、丹沢の山々を抱えている地形のため、地震はもちろん風水害や土砂災害にも十分に備えなければなりません。

9月1日の防災の日、県総合防災センターで「ビッグレスキューかながわ」を県と共催しました。消防や警察、自衛隊、医療機関などが参加する大規模な防災訓練です。マグニ

災害に強いまちづくりには、自助、共助、公助が欠かせません。8月30日に市内全域で実施した総合防災訓練では、地域の皆さんの「自分たちのまちは自分たちで守る」という共助への強い思いを感じました。

本市では9月末に、市内36の全市立小・中学校体育館への冷暖房設備の整備が終了。室内用テントやベッドを設置するなど、今後も公助に当たる「我慢しない」避難所環境の充実に努めてまいります。

チュード8・2の地震による建物倒壊を想定した救出救助や医療救護の手順などを確認。高市早苗首相も訪れ、ワンタッチテントの設置やドローンによる物資輸送などを視察しました。救助ロボットなども披露され、技術の進歩と防災力向上を感じたひとときでした。

タウンガイド

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

☎=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 FAX=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 📍=講座予約システム
 愛TV 10/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「秋の訪れ」
 #8月25日撮影
 #コスモス
 #荻野運動公園
 #niceatsugi
 市公式インスタ
 グラムで公開中



無料

郷土芸能の祭典

郷土芸能まつり

厚木に伝わる伝統芸能が一堂に会するイベントです。

☎文化魅力創造課 ☎225-2509



■郷土芸能発表会

日時 10月18日 13時30分～16時

出演 相模里神楽垣澤社中、長谷・愛甲ささら踊り盆唄保存会、法雲寺酒井双盤講、宮郷太鼓保存会

■相模人形芝居特別公演

日時 11月15日 13時30分～15時30分

出演 相模人形芝居林座・長谷座、あつぎひがし座

いずれも会場は文化会館。定員300人。☎不要。先着順。



詳細はこちら

あつぎストリートフェス (市民協働提案事業)

10月17日、16時30分～18時30分。中町花の公園。ミュージシャンによるストリートライブ。無料。☎不要。☎文化魅力創造課 ☎225-2508。

文化財一般公開 「相模川流域のほとけ」

普段は見られない紙本墨画淡彩「仏涅槃図」などの文化財を特別公開します。

《一般公開》10月30・31日、10～15時。建徳寺(金田262)、蓮生寺(中依知679)。《解説》10月31日、13時30分～14時30分。蓮生寺。

いずれも無料。☎不要。☎文化魅力創造課 ☎225-2509。

フクロウの生態を学ぼう!

11月28日、10～12時。県自然環境保全センター(七沢657)。フクロウが残した落とし物を調べてその生態と森の命のつながりを学ぶ。市内在住在勤在学の方25人(小学生以下は保護者同伴)。無料。☎

電話またはEメールに参加者全員の〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、10月30日までに環境政策課 ☎225-2749・✉3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。📍

救急救命講習会

■応急手当普通救命講習会(小児・乳児対象)

11月9日、13時30分～16時30分。

■応急手当普通救命講習会

11月14日、9～12時。

いずれも消防本部。応急手当での重要性、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上各回30人。無料。☎10月1～8日に救急救命課 ☎223-9365へ。抽選。📍

あつぎ夢プロジェクト・カラオケ大会予選会(市民協働提案事業)

12月19日、10～16時。厚木シティプラザ。定員30人。2000円(市外在住の方は3000円)。入賞者3人は2027年2月のチャンピオン大会に出場。☎ファクスまたはEメールに氏名、電話番号を書き、10月20

日までにあつぎ夢プロジェクト事務局 ☎294-0888・✉yume.pro.atsugi@gmail.comへ。抽選。☎生涯学習課 ☎225-2512。

福祉有償運送運転者講習会

11月15日、9～18時。市役所第二庁舎。福祉有償運送の運転者を目指す方に向けた講習。普通自動車免許を所持する市内在住在勤在学の方27人。無料。☎10月23日17時までに市HPにある申し込みフォームへ。抽選。☎地域包括ケア推進課 ☎225-2200。

競争入札参加資格の定期申請を

市が2027年4月1日～29年3月31日に発注する建設工事・業務委託などの入札に参加する事業者は定期申請が必要です。☎11月30日までにかながわ電子入札共同システムHPから申請し、提出書類を簡易書留で12月1日(消印有効)までに〒243-8511契約検査課 ☎225-2171へ。

国民年金保険料の「育児免除制度」が開始

申請者はこどもが1歳になる日の前月まで保険料が免除されます。免除期間は、納付したものとして将来の年金額に反映します。

《対象》①2026年10月1日時点で、1歳未満のこども(実子・養子)を養育する国民年金第1号被保険者(父母・養父母)②子と同一住所③親子関係が継続している一の全てを満たす方。☎本人確認書類、基礎年金番号の分かる書類を持ち直接、国保年金課 ☎225-2121または厚木年金事務所 ☎223-7171へ。マイナポータルの「ねんきんネット」から電子申請も可。詳細は市HPに掲載。

あつぎウィンターフェスティバルのクラウドファンディング

市内の4商店会が厚木公園で展開するイルミネーションを盛り上げるため、装飾費用などを集めるクラウドファンディングを実施します。

《期間》10月1日～11月15日。☎市HPにある専用サイトから申し込み。☎商業観光課 ☎225-2840。

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)「人獣共通感染症」に注意

SFTSは草むらにいるマダニが媒介し、犬や猫だけでなく人にも感染する人獣共通感染症です。感染した動物の血液や唾液などの体液から人へ感染する場合があります。すでに県での感染が確認され、予防には定期的なマダニ対策や散歩後の体表チェックが重要です。異常があれば早めに動物病院や医療機関へ相談してください。☎生活環境課 ☎225-2750。

10月15～21日は違反建築防止週間

建築基準法のPR活動や違反建築防止パトロールを実施します。☎建築指導課 ☎225-2434。

みんなの声で ちまち

《意見交換会》

■第3期市消防力整備計画策定

10月20日、19～20時。消防本部。☎不要。☎消防総務課 ☎223-9366。

■(仮称)いじめ防止対策推進条例制定

10月23日、19～20時。市役所本庁舎。☎10月15日までに市HPにある電子申請システムまたは電話で市民協働推進課 ☎225-2215へ。

厚木市 市民参加

検索

あつぎ協働大学特別講座

ぱかぱかじかん・世話を通して、ウマに親しむ

馬とのコミュニケーションや世話を通して、性格や生態を詳しく学べます。☎生涯学習課 ☎225-2512



日時 11月14日、12月5日 9時30分～12時30分
 会場 東京農業大学(船子1737)
 内容 ブラッシングや掃除の体験など
 対象 市内在住の小学4～6年生各回8人
 費用 無料

☎10月23日までに市HPにある電子申請システムから申し込み。抽選。



詳細はこちら

ホット

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報シティプロモーション課 ☎225-2043

9月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆すてきな自然の滝に感動した。市内にはまだ知らない場所がたくさんあると感じた／60代女性 ◆傷病者情報共有システムはとても心強い取り組みだと思う／70代以上男性 ◆フレイルになりやすい年齢なので、セミナーに参加してみたい／60代男性 ◆動物に対する愛情の深さと思いやりに感心した。これからも活動を応援したい／70代以上男性 ◆今年から秋に開催となったあつぎ鮎まつりが楽しみ／30代女性

編集後記

合唱部員役の皆さんにとって、ロケ地であり思い出の地でもある厚木中学校での対談。教室に入ると「懐かしいな」「あんな撮影をしたよね」と話が止まりませんでした。中学校の他にも七沢森林公園や大学で撮影したエピソードなど、気付けば対談の時間は3時間を超えていました。取材を通じて感じたことは、まちを誇りに思う気持ちです。思いが詰まった映画を、私も劇場で楽しみたいと思います／大矢

見つけてグッズをもらおう

こびとさがし in あつぎ

人気児童書シリーズ「こびとづかん」が
コラボレーションしたコビト探しイベントを、
ぼうさいの丘公園と市街地で開催します。
参加者には、オリジナルグッズをプレゼントします。

☎ 広報シティプロモーション課 ☎ 225-2040

©Toshitaka Nabata

詳細はこちら

こびとづかん
20th Anniversary
2006-2026

昆虫でも植物でもない不思議な生き物「コビト」を描いた児童書シリーズ。今年で誕生から20周年を迎えた今も、独特な姿とユニークな生態が世代を問わず大きな人気を集めています。

■ぼうさいの丘公園

10月17・18・24・25日

(受け付けは園内のセンター施設)

対象 18歳以下の方

当日は、キッチンカーが出店します。

■本厚木駅周辺

11月14・15・21・22日

(受け付けは本厚木駅前北口広場)

いずれも開催時間は10～15時。無料。

イベント内容

こびとさがし

地図やヒントを頼りに、会場内に潜んでいるコビトを見つけてビンゴ達成を目指します。達成者には、オリジナル缶バッジをプレゼント

クイズラリー

コビトにまつわるクイズを出題。全問解答で、等身大カクレモジリシールをプレゼント

☑不要。直接会場へ。参加者にオリジナルクリアファイルをプレゼント (数量限定)。

グッズのデザインはイメージです。

自然歳時記

●ナガサキアゲハ●

アゲハチョウ科

羽を開くと12センチほどになる大形のアゲハチョウの仲間。ドイツ人で医師・博物学者のシーボルトによって長崎で採集され、ナガサキアゲハと命名された／上依知、田んぼのあぜ道で見つけた。 写真・文／吉田文雄

ヒガンバナが、田んぼのあぜ道を真っ赤に染め、美しい秋の景色となっていた。

ナガサキアゲハが発見された江戸時代は、気候が温暖な西日本に分布していた。最近は地球温暖化の影響で、気温が高くなる関東以北にも見られるようになってきて

いる。幼虫はミカン科の葉を食べるため、分布が広がりやすい。成虫はアゲハチョウの仲間としては珍しく尾状突起がないのが特徴である。

気候の変動が生き物に与える影響は大きい。今後も変わりゆく環境の中で、注意しながら生き物たちを見守りたい。

厚木市の人口 (9月1日現在)	世帯数 10万5879世帯 (前月比66世帯減)	人口 22万2128人 (前月比154人減) 男11万4303人・女10万7825人
--------------------	--------------------------	--